

【全体概要】

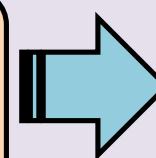
畜産経営においては、夏季における暑熱により、生産性に大きく影響されることが課題となっており、その対策については色々な技術がある中で、近年暑熱対策塗料が注目されてきている。しかし、熱反射による遮熱効果を期待しているため、汚れ等による遮熱効果の劣化等の課題がある。このため、本事業ではこのような課題を改良した「塗装材」を活用することにより、夏場における生産性低下を防止し、流通業者等の結びつきによる安定的流通を図る。

新品種・新技術等の概要

新技術の特徴

従来の反射型塗料

- ・汚れによる効果減少
- ・光反応による塗膜劣化



【資材名】熱交換塗料「タフコート」 【開発元】アルバー工業(2004年)

今回の新型塗料

- ・反射に依らない遮熱
- ・光反応抑制による塗膜保持

新技術の普及状況

- ・建造物の屋根・壁や駐車場等の施工事例はあるものの、畜産関係施設での事例はほとんどない。

主な取組内容

【実証試験の実施】

- ・ウンドレス(H26)およびセミウンドレス鶏舎屋根に塗布(H27)
対照区(未塗装)を設定し、温度等、飼養成績を調査

- ・資材の種類による効果の確認
飼料タンク表面に塗布(未塗装区も設定)

・継続調査

H26年度に塗布した鶏舎で、汚れ等の影響を確認

【試験設計および成績検討会の開催】

- ・設計検討会、成績検討会・情報交換会

【他資材との比較調査】

- ・暑熱対策塗料現地調査

【生産者研修会での技術紹介】

- ・養鶏関係生産部会での技術紹介



コンソーシアム候補の体制図

【実需者：県内流通業者】

- ・新技術に関する助言
- ・研修会への参加

情報共有 協力関係

【三重大学】

- ・試験設計に関する助言
- ・試験データ解析への協力

情報共有 協力関係

【中央農業改良普及センター】 (農業革新支援専門員)

- ・事業実施計画の作成
- ・各種検討会の開催
- ・関係機関との調整

【試験協力農家】

- ・実証試験管理
- ・試験データの提供

【畜産研究所】

- ・試験設計に関する助言
- ・各種検討会への参加

【生産者団体】

- ・各種検討会への参加
- ・実需者との連携検討

実績と今後の展開

実証結果の概要

- ・屋根表面温度および直下の気温は低下傾向が認められ、暑熱効果が確認された。
- ・飼育成績については、産卵成績等の改善効果が確認された。
- ・汚れ等による効果の減少は特に見られなかった。

今後の展開

- ・採卵鶏分野においては、生産安定技術が求められており、夏場の産卵率低下が課題となっており、実証結果をもとに他の養鶏農家への導入・普及を図る。
- ・冬季においても改善効果が見られており、現地検証を通じ、効果の確認を行う。
- ・他の畜産分野においても、暑熱対策は重要な課題であり、生産者団体及び関連機関と連携し、研修会等を通じた普及活動を図る。